

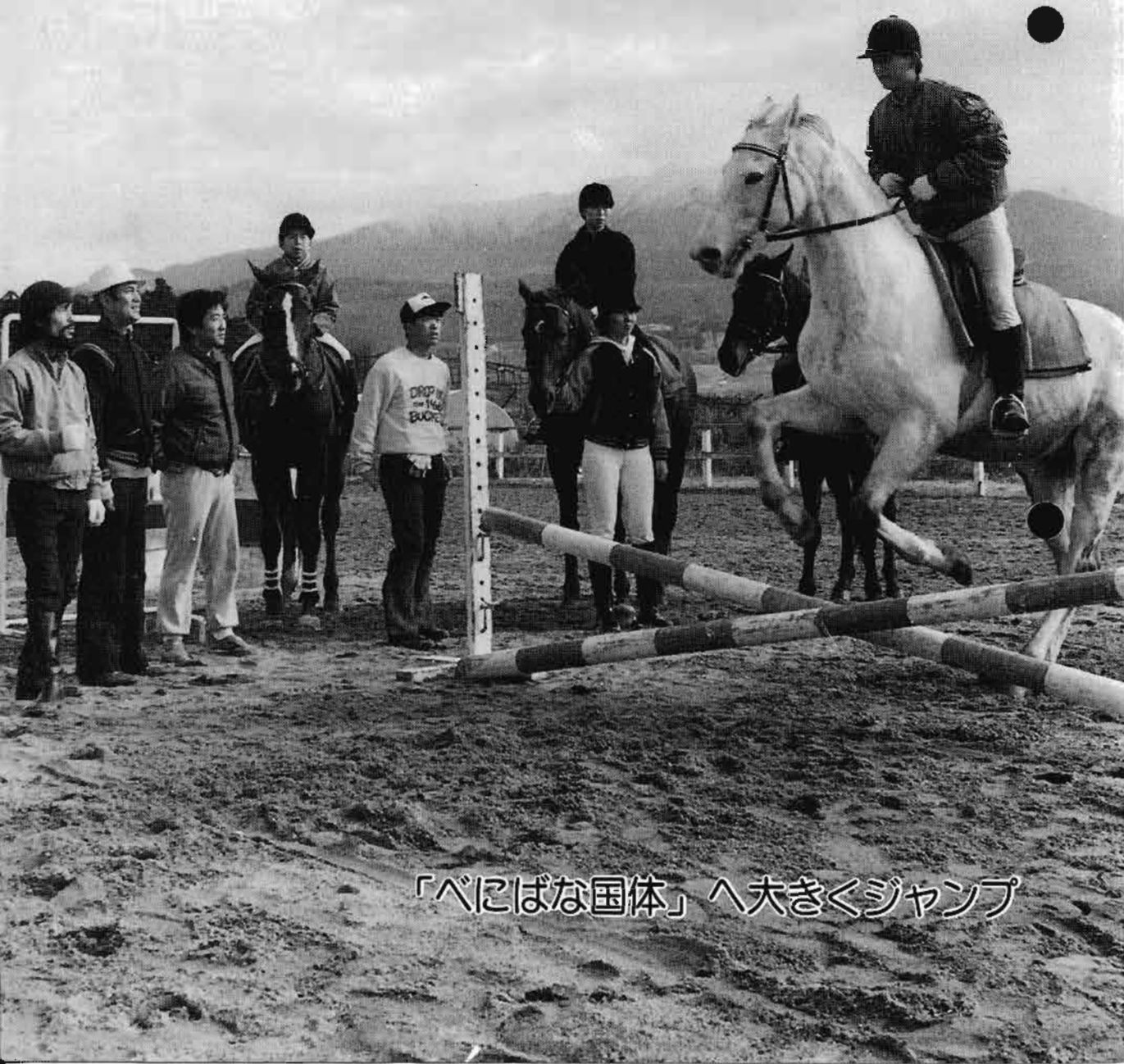
山形県スポーツ少年団

昭和62年3月14日発行

No. 3

発行
(財)山形県体育協会
山形県スポーツ少年団
山形市松波2-8-1
☎(0236)30-2894
印刷 榊大風印刷

大空に翔る



「べにばな国体」へ大きくジャンプ



べにばな国体とスポーツ少年団活動

教育環境の組織化



山形市立東小学校スポーツ少年団

本部長 浅井 慶一

現代の子供たちにとって、スポーツは、人と触れ合い、全身でダイナミックに運動する「遊び」の場として、心身の成長にかけがえのない活動であります。

これまでの、一般論としては、子供のスポーツの重要性が論じられながら、スポーツ少年団については、一方では、その過熱に対して、学校での学習活動の妨げになるという理由で、批判が主として学校（教師）の側から発せられ、他方、少年団活動に対する学校や教師の無理解・非協力に対する非難が、少年団やス

ポーツの関係者の中にくすぶり、相互の間に、さまざまなあつれきを生み出しているようにおもわれます。事実、スポーツ少年団が、独自の競技集団と化して独走し、子供の家庭、学校や地域社会での活動、果ては、子供自身の自由をも無視して、練習や試合にのみ狂奔する事態もあって、教育関係者が鋭い批判を浴びせた事もありましたし、教師の間にスポ少に対するいじめない拒否反応がありました。しかしながら、日本スポーツ少年団が結成されて二十五年が経過し、大方の団は、正常な活動を目指し

て子供の成長に好ましい成果を生み出しつつある今日、希望に溢れて団活動に参加する子供たちを取り巻く大人たちの間に、このような批判や非難が交錯する状況はいちはやくふつしよくするべきであると考えられます。そのために最も直接的、効果的な方策は、スポ少関係者が学校教育のあり方に耳目を傾けるとともに、学校や教師が地域の教育力の鼎として、スポーツ少年団活動に、直接・間接的に、積極的に参画する協力体制を作り上げて行くことではないかと考えます。

山形市立東小学校の児童の

将来の展望に立った団活動のあり方



最上町立月橋小学校

校長 小 関 文 助

スポーツ少年団では、子供の教育環境全体(保護者、学校・教師、団の指導者、PTA、地域の理解者、学区町内会)を組織し、東小スポーツ少年団本部を結成し、スポーツの活動を育成してゆこうと試みています。子供のスポーツは、教育の全体計画の中で推進されなければならぬものであり、その正常かつ効果的な運営には、学校と教師の参画が大きな力となるものとして、積極的な活動を期待しているところであります。

一、こんな子どもに育てたい

べにはな国体の成功とスポーツ少年団活動のあり方を考える基盤として、めざす子ども像を明確にする必要がある。

- ①運動の楽しさがわかり、自ら進んで運動できる子ども
- ②うれしさやくやしきのわかる(感動のある)子ども
- ③規則正しい生活ができ、明るく礼儀正しい子ども
- ④いろいろな(異なる団、県、国の)友達を大切に、仲良く集団生活ができる子ども

二、魅力ある団活動を

将来の展望に立ったスポーツ少年団活動のあり方として次の点を強調したい。

- ①子どもにとって魅力ある団活動を……子どもの立場に立ったプログラムづくり。主なスポーツ活動を中心にした多彩な活動内容を②楽しさと厳しさのあるスポーツ活動を(生涯スポーツと競技スポーツの土台として)③交流大会への積極的参加と意欲的な交流活動を④親と共に楽しむ団活動を(健全な家庭づくり、

地域づくりをめざして

三、今後の課題と指導の重点

スポーツ少年団活動が、べにはな国体の成功と健全な青少年育成の大きな推進力になるために、次の課題に向けて重点的な指導が必要である。

- ①スポーツ少年団活動のビジョンと指導観の確立……将来の展望に立ったスポーツ少年団及び母集団活動のビジョンを持ち、「こんな子どもを育てる」というしつかりした考えをもって指導にあたる。②指導者の養成と指導力の強



▲未来を担う子どもたちのためにビジョンを確立して

化・充実……スポーツと子どもが好きな指導者を多く育て、資質向上と指導力の充実に努める。③各種大会、競技会の検討と推進……子どもの立場に立った、しかも競技力の上昇に結びつく大会を計画、運営する。④関係者(組織)の理解と協力……親、地域、学校、競技団体等との連携を密にし、力を合わせて団活動を推進する。

六七国体強化にむけて



山形県ウエイトリフティング協会
理事長 田中隆 三

中学校にウエイトリフティングのスポーツ少年団の育成と、拠点校を得るのは、協会と、協会の悲願であった。六七国体誘致の話題が羽黒町において起こると、羽黒中運動部生徒を対象に、町教委、体協、ウエイトリフティング協会、中学校側との話し合いを積み重ね、ウエイトリフティング教室の開設をした。そして三年目には、羽黒町より中学校体育館に隣接して、単独の練習場を建設して頂いた。現在難波謙二羽黒中教員の指導のもとに町協会員がアシスタントになり、十八名の選手が練習に励んでいる。

設置の前提は、重量挙げ競技のみならず一人でも多くの羽黒中生を、六七国体に出場させようということであり、そのための基礎体力づくりの一貫として、国体の意義、PR、優秀なタレントの発掘も目標とするものであった。また施策として、羽黒町六七国体競技力向上計画（町教委）に組みこまれ、国体開催から終了後も連結充実できるように検討してゆくことになっていく。

発表の場としての「羽黒町ウエイトリフティング大会」も四回を数え、「俄かつぎ、綱ひき大会」は二回、年毎に参加者が多くなっている。後者の大会は、町農業協同組合と共催するもので、農業まつりの中で実施されている。オリ

ンピック、国体出場のため佐々木保重、斎藤徹、難波謙二選手と、中学校スポ少の選手は、

六十一年度町スポーツ少年団二十周年記念において、小学生達の前で、試技実演をし、大喝采を受けた。

十二月二十五日（三十日）の県国体強化合宿には、一般高校の選抜選手と共に参加して、大きく成長した。スポ少の中学生は確実に力をつけている。高校より競技を開始した選手と比較して、記録の上でも精神的な面でも、その差は大きい。

種々心配された中学校の先生たちも、校長先生はじめ各大会に激励に訪れ、立派にやっていると評価して頂いた。

十二月には、スポ少父母の会と後援会をそれぞれ発足させた。三月末から四月にかけては、高校生の選抜遠征に



一緒に参加させよう計画している。六七国体成功に向けて、夢は広がるばかりである。

▶各競技団体において六七国体成功に向けて取り組んでいます



今年もいろいろな交流がありました。みなさんも積極的に参加しましょうね。

交流 友好



▲大空のもとでの開会式

全国スポーツ少年大会に参加して

鶴東剣道スポーツ少年団
指導者 服部 健二郎(鶴岡市)

依頼があった時、もっと他に適任な方がいるのではと、一寸とまどいを感じました

が、参加してみますと、私も老年で、毎年参加してい

る方がおられ、先ず喝を入れられる思いがしました。

石川県の医王山は駅からすこし遠かったが、施設が整い、広い医王山全体を有効に使っていることに感心し又、うらやましく思いました。

とにかく五百余名の参加者が役員の方や、補助員(六十名)の方々の行き届いたご苦

しいことになりました。



▲挑戦する気持、楽しいグループ活動

労のおかげで、すばらしい経験をすることが出来ました。水泳、登山、キャンプファイヤー講演等の行事が気持よく進められ、伸び伸びと活動する生徒諸君の姿を、私はとても嬉しく見ました。別れの集いでは、すっかり打ちとけた

友情の輪がいくつも出来て参加の成果をみる思いがしました。かくいう私も数名の指導者の方と、今年は滋賀で再会する約束をしています。今、人との出会いのすばらしさをかみしめています。

楽しかった東北スポーツ少年大会

釜淵スキースポーツ少年団
藤田 千賀(真室川町)

私はまだ中学一年だけどリーダーとして山形県真室川町で開催されたスポーツ少年大会に参加しました。たくさんの人と交流して特に印象的だったことは、方言で会話をしてきたことです。同じ東北でも県がちがうと言葉も違っていました。こんなに住んでいるところがはなれている人たちと交流するのは、私にとって初めてなのでおどろいてしまいました。でもこの会話は二度と忘れることのできないとてもめずらしい体験になりました。

こんなに会話にもすぐなれて、グループ活動はたいへん楽しかったです。各グループ

のアイデアがそれぞれがついているので、グループ発表なども見ていてとてもウキウキしてくるような感じでした。炊飯活動も班で協力して作りました。とても大変で、まじめの班長は苦勞したようです。

私はこの交流会でまた一つ自分が大きくなったように感じ



言葉は通じなくとも「心の輪」が大きく広がる

じました。集団生活の楽しさ、きびしさ、協力性や挑戦する勉強になりました。気持の大切さなどを学び大変

西ドイツから迎えて

大石田町教育委員会派遣社会教育主事

榎 本 慎 一

水と緑と文化の町「大石田」に、西ドイツからすばらしい

友が来町しました。

四泊五日、一軒に一人ずつ民泊するという試みが、周囲の温かいご協力のおかげで大成功に終わりました。

西ドイツ国歌演奏の時に、感激のあまり突然涙を流して合唱したこと。歓迎の夕べで町民四百人と作った大きな大きな「心の輪」。民泊先の人々と時の過ぎることを惜しみながら語りあつた夜。キャンドルライトに永遠の友情を確めた合った合同さよならパーティー。橋岡駅で別れの涙でくもらせた汽車の窓。一つ一つが昨日の事のようによみがえってきます。

大石田町民に、夢と希望をそれに、国際感覚を与えてくれた五日間でありました。また、スポーツを愛する心を教えてくれた西ドイツの友であ

りました。最後に、このようなすばらしい機会を与えて下さった、山形県教育委員会及び山形県スポーツ少年団本部に心から感謝を申し上げます。

西ドイツに学ぶ

蔵王一小サッカースポーツ少年団

菅 野 淳 (山形市)

私は、二十四日間の西ドイツでの生活において、たくさんの人と出逢い、そしてたくさんの方を得ることができました。このことは西ドイツへ行って私にとっては最大の喜びであるといえる。また、この日独スポーツ少年団同時交流は、楽しかったばかりでなく、とても意義のあるものであった。サッカーやテニス、水泳などのスポーツ活動を中心に交流をしてきた中で、彼らのスポーツに対する考え方や取り組み方を知り得たこと、そしてそこに根ざすスポーツの背景に触れることができたことなど、勉強になることが多かった。特に感激したのは、子供からお年寄りまでが、一縷になってスポーツが楽しめる環境であった。



▲ホームステイ、家族の一員になって

これら西ドイツで吸収した数々を、そのままのものとしてではなく、私なりにアレンジしてこれからの少年団の活動に生かしていこうと思う。

米沢市弓道スポーツ少年団

指導者 遠藤 隆



昨年五月、結団以来週二回、につれ、面白味を感じ、かかさ
七、八時まで、十名の団員と ず練習に参加しているこの頃
練習にはげんでいます。団員 です。
手の小さい、力の弱い小学
生への指導法の模索・道具の
購入と悩みの
多い一年でし
たが、市弓道
連盟のバック
アップもあ
り、来年度の
一層の発展を
期し、がん
ばっているこ
ろです。

▲心身の統一、
的は心で射よ！



紹介

白慢



寒南剣道スポーツ少年団

指導者 日下部 陽光



▲活動の成果を表すことができました

優勝旗三本、優勝杯八個、
メタル一三個。以上が本年度
の成績である。優勝の一瞬の
感激、涙、喜びに浸ることが
できたことは自慢の一つ。
然し、我が団は優勝至上主
義はとっていない。ただ基本
に忠実な練習を通して心身づ
くり、励むことを重視してい
るが、この成績はその成果と
いえよう。
次に誇れることは、五十四
名の団員が剣道することの喜
びを知ってくれたこと、そし
てお互に健やかに競い合っ
ていることである。

西遊佐ミニバレー スポーツ少年団

指導者 高橋 三二郎



▲団員の和と人づくり、それにスポーツの両立を。きつと国体のメンバーになるよ！

わがミニバレースポーツ少年団は、結成して二年余りとは、浅くまだ基礎作りの段階です。指導する我々も指導力不足

敷しい練習の中に、時には楽しいゲーム的なものも入れたり、べにばな国体をめざせと練習に励んでいます。

ファイトが湧いて来ました。

学習コーナー



山形県立山添高等学校
教頭 梁 瀬 吉 弘

（山形県スポーツ少年団認定育成指導員）
傷害事故防止について

スポーツ活動において傷害

傷害事故への対応

スポーツ少年団活動における
傷害と事故補償について

活動計画、活動場所、時間、内容等について連絡を密にし、保護者の理解を得、運営について協力援助をお願い出来る体制を確立しておくことが傷害事故発生時にも役立ち大切である。

スポーツ活動における傷害事故の発生は、ある程度予測されることであるが、発育期にある青少年を対象として、施設・設備・用具等の安全点検を確実に実施し、活動内止策について十分に留意しなればならない。特に団員の成長発達に禍根を残すような傷害事故は絶対にあつてはならない。

スポーツ活動は指導者の熱意と好意により支えられ運営されているが、一度傷害事故が発生すると、指導者とその責任を問われる立場に立たされる場合もあり、活動の安全管

理には十分に留意しなければならぬ。

従って指導者は年間、月間

保護者との連携

スポーツへの入団は保護者が

損害賠償保険等に加入し対応出来る体制を整えておかない

ればならない。指導者各位の

ご尽力に敬意を表し、活動が

より活発に展開され、第四七

回国体の成功に発展するよう

祈念いたします。

- 《山辺町》
元木 文明
山口 誠
武田 貞也
石川 忠治
鈴木 辰雄
阿部 英明
阿部 正捷
日野 秀人
吉田 休六
後藤 輝男
奥山 良子
長岡久二男
峯田 正吉
長岡 茂樹
小松赤石工門
佐藤 忠也
佐藤 鏡一
村岡 和幸
- 《寒河江市》
日食榮 二郎
荒木 徳一
佐竹 宏
大沼 勇
塩野 良助
佐藤 勝郎
武田 俊晴
鈴木 藤雄
佐藤 光彦
結城 智広
大泉 邦彦
安孫子喜美夫
小松 仁
石垣 賢次
阿部 裕二
工藤 堅一
横山 清志
鈴木 俊一
佐藤 敏
渋谷 敏
阿部 憲市
石川 猛
小松 仁一
斎藤 孫一
小松 聖治
峯田 忠雄
- 《河北町》
奥山 敏夫
原田 仁志
森谷 敬一
高橋 利晴
今田 慶昭
岡 勇喜
石垣 珍子
後藤 良一
今田 博司
松田 雄二
多田 徳孝
木村 宣伸
畑米 清也
遠藤 隆
- 《村山市》
海老名昭夫
前田 寛
高橋 廣久也
菅原 勝昭
松岡 潔
小関 哲
今野啓治郎
矢口 豊
皆見 和芳
松岡 真一
鈴木 邦夫
矢口 宏之
青木 健吉
三浦 大和
阿部 泰士
真木 秀昭
西水流静男
大地 広美
細谷 信雄
阿部 千里
山口 介男
井上 修一
田中 昭広
矢口 良治
- 《東根市》
下山 弘喜
長浜 俊二
工藤 敬治
多田 利雄
金田 賢一
夏達宗一郎
菅原 研一
柄松 孝歳
斎藤 啓子
石山 和治
佐々木正晴
鷲 文雄
芦野 満男
牧野 清助
本木 栄悦
- 《新庄市》
遠藤昭二郎
畑崎 久雄
矢作 貞一
植木 俊和
奥山 金助
佐藤 幸吉
庄司 光昭
盛岡 和弘
五島 輝雄
- 《最上町》
下山 昭男
二戸 建夫
阿部 敏
佐藤 俊夫
加藤 仰司
菊池 良兼
北條 浩光
菊池 貞一
阿部 正春
樋口 文義
佐藤 一郎
堀野 昭夫
- 《舟形町》
沼沢 孝雄
溝口 好広
沼沢 幸次
大場 清
石川 利治
- 《真室川町》
庄司 信一
佐藤 久
高橋 律子
佐藤 昭夫
黒坂 正満
吉田 力
- 《中山町》
多田 誠志
渡辺 智
小松 弘幸
- 《西川町》
飯野 秀男
- 《朝日町》
犬養 守
阿部 義春
- 《大江町》
金山 実
- 《尾花沢市》
西塚 一弘
武田 佳久
尾崎 幸和
藤 敦
藤井 順一
柿崎 新一
佐藤 主計
川村 隆
- 鈴木 隆
沼沢 正人
佐藤 信一
五十嵐伸一
五十嵐昭一
鈴木 孝治
園分 清貴
任河 孝春
- 大類 隆
石川 文夫
寛 春美
東海林想助

- 《酒田市》
佐藤 勝也
相馬 春夫
鈴木 保一
松本 輝
土門 満
高橋 燈治
余内 庄也
鈴木 和子
大沼 昇
斎藤 裕治
五十嵐恒夫
小林貞太郎
阿部 博明
小松昭哲夫
横地 昌洋
今田多津夫
中村 信一
阿蘇 善泰
梅津 潤一
早藤 寛
佐藤 行伸
佐藤 淳一
尾形 恵雄
堀 司
- 《遊佐町》
佐藤 重昭
高橋 良作
高橋 勤一
佐々木忠勝
今井 俊美
菅原 友一
土門 秀幸
川俣 義昭
高橋 昭二
川俣 信幸
杉山 芳樹
高橋三一郎
伊藤 祐紀
沢口 高一
尾形修一郎
高橋 正義
村上 徳義
遠田 秀雄
土門 茂
時田 正治
友野 謙夫
高橋 勝幸
佐藤 清一
- 高橋 藤一
荒生 孝良
阿部 貞勝
富樫 浩明
佐藤 清
佐藤 実
遠田 君雄
土井 豊
村上 正二
佐藤 毅夫
阿部 幸子
丸藤まさ子
十川 芳晴
- 《平田町》
庄司 栄邦
伊沢 彰
伊藤 誠一

◇公認体力テスト判定員

《新規》 《山形市》 川村 信雄 斎藤 恒好 海老名清二 《新庄市》 田中 東平 奥山 金勇 矢口たか子 斎藤 敏 《舟形町》 鈴木 広友 沼沢 秀勝 阿部 善徳 《戸沢村》 荒木 宗助 影沢 洋 《鮭川村》 八瀬 啓介 井上 耀二 谷沢 志龍 《金山町》 明石 弘	《最上町》 菅 信一 原田 久一 大場 聡 樋口 文義 《朝日村》 上野 進 安野 治 工藤 征一 佐藤 利浩 《尾花沢市》 石沢 文子 菅藤俊一郎 《寒河江市》 菅野 英行 安孫子喜美夫 《南陽市》 外山 嘉之 《瀧田市》 石寺不二郎 《鶴岡市》 服部健二郎	《更新》 《山形市》 飯垣 力雄 《中山町》 今野 澄子 《西川町》 飯野密太郎 高野 明美 《新庄市》 奥山 康夫 《金山町》 五十嵐優一 《真室川町》 高橋 充 佐藤喜美雄 斎藤 実 佐藤 忠吉 藤田 正勝 藤田 勝 荒木 洋 高橋 公明 《大蔵村》 斎藤 啓悦 斎藤 誠	佐藤 利男 八瀬 博幸 大山 信裕 《鮭川村》 八瀬 藤一 黒坂 健一 高橋 正信 《米沢市》 山田 長一 白田 雄 《長井市》 垂石 征子 四釜 憲吉 佐竹 満一 四釜 誠司 《白鷹町》 今野 繁広 《立川町》 小野 利雄 《鶴岡市》 後藤 直光 砂場 孝一	佐藤 秀男 長高 卓 《酒田市》 川村 進 須田 止明 池田 整 堀 道夫 《遊佐町》 伊藤 宏紀 佐藤 浩毅 《松山町》 筒井 昭治 《平田町》 阿部 重雄
---	---	---	---	--

スポーツ少年団認定指導員(山形県講習会)

昭和61年度
指導員資格
取得者

スポーツ少年団認定育成
指導員 (中央講習会)

〈新規〉

今田 明
佐藤 勝矢

〈更新〉

佐々木 明
須藤 清一



〈山形市〉

大沼 忠治	高橋喜久雄	小野 直	武田 正
安永 正男	森谷 章	尾形 弘則	佐藤 清忠
押野日出男	阿部 雅昭	伊藤 玉藏	三沢 和夫
吉田 敏行	鹿野 智弘	栗原 啓一	佐藤 康彦
古藤 健二	笹原 洋一	堀 弘一郎	桑達 栄高
松田 邦男	鈴木 正孝	遠藤 義治	芳賀 晴洋
小関 敏明	古内 藤一	菊地 弘造	遠藤 繁光
羽田 佳弘	大場 博征	井上伝太郎	
佐藤登志夫	志田 武	鎌田 隆二	
矢田目清美	藤巻 幸治	吉田 勝昭	
矢田目れい子	吉田 真一	黒沢 四郎	
長岡 貴道	江口 益雄	中野 文雄	
元木 定雄	黒岩弥平太	遠藤 正己	
猿橋惠美子	工平 徳司	岩田 邦弘	
斎藤 恒好	大木 忠一	飯治 信司	
会田 守男	渡辺洋一郎	佐山 古好	
石川 吉正	大場 章	木川 一	
高野 司郎	佐藤 章	佐藤 伸一	
佐藤 徳雄	山本 正勝	荒井 清	
大村 孝	後藤 信之	佐藤 紀一	
中村 一良	山根 敏明	植松 徹	
石黒 隆嗣	金田 安弘	高山 光治	
高野 高志	殺野 恒二	斎藤 諭	
後藤 哲男	沼沢 士郎	佐藤 茂博	
細矢 正広	高橋 祐治	滝井 潤	
細谷 正利	門間 秀夫	橋間 俊幸	

〈上山市〉

翁地五十雄	五十嵐 勤	久保田勝治	鈴木利右工門
木村かよ子	小松 康一	伊藤 八郎	花屋 三也
鈴木長兵衛	高橋 哲	黒田 彰夫	鏡 孝夫
伊藤 東己	中川 善博	三条 義昭	長沢 雅人
稲毛 義人	阿部 功	佐藤 健一	石井 淳
工藤 集雄	伊藤 幹男	山川 次郎	

〈天童市〉

富樫 美一	松田 英昭	高橋 友悟	原田 恵子
押野 文男	豊太 菅	村山 剛	波辺 啓二
矢萩 春英	矢萩 洋	須藤智枝子	伊藤 睦美
伊藤 孝男	小川 建夫	塩野 謙	三宅 邦雄
木村 稔	人石 義美	村岡 泰美	浦口 光善
黒沼 孝好	菱沼 誠雄	伊藤 敏行	滝口 正彦
松田 孝	平塚 久衛	森谷 勝男	村山 文雄
波辺 博可	藤原 広悦	佐藤 定義	



〈大石町〉

関 養春
榎本 慎一

米沢市

菅原 勇	海谷 安広
塩田 義則	渡辺 宏
鹿岡 幸男	井上 清一
後藤 強	加藤 繁男
奥山 長也	斎藤 孝昭
海谷 俊雄	小林 徳勇
山口 彦彦	五十嵐信也
鈴木 政人	石田 俊治
金子 雅明	山岸 洋一
三品寺弘子	戸田 靖男
笹原 浩之	須藤 正彦
佐々木茂子	俣川太郎
鈴木 和子	小笠原由美
東海林由美子	新井 幸夫
越中台恒道	佐藤 仁

〈高島町〉

相良 周一
渡部 利七

〈川西町〉

大木 優一	佐々木 明
金子 高志	大木 義孝
後藤 昌弘	飯沢 孝雄
遠藤 利馬	伊藤 長栄
高橋 泰子	高橋 祐吉
泉沼 淑	奥村 邦彦
多田 敬吉	磯部 照秋
中川 秀一	

〈白鷹町〉

柳山 美佐	大滝 秀昭
梅津 弘治	大滝 隆雄
紺野 正光	大嶋 吉幸
高橋 清吉	菅原 保明
丸山 晃	黒田 利晴
菅原 庄市	樋口 孝
土屋 司	竹田 敏美

〈飯舘町〉

須貝 順子	神藤 孝弘
手塚 秀幸	新野 昭作
島貞潤一郎	

〈長井市〉

鈴木小衛門

〈鶴岡市〉

富樫 弘行	本間 英敏
本間 明	志田 金幸
阿部富太郎	村岡 好男
五十嵐 武	五十嵐洋一
阿部 亮	五十嵐 豊
井上 定一	岩井 豊
佐藤 明	佐藤 善雄
足田みゆき	斎藤 弘
小松 常宏	林 信志
村田 茂	甲嶋 邦英
石沢 清一	佐藤 幹雄
武田 正志	早坂 裕子
菊地 洋子	高橋 千穂
渡部 孝一	中村 秀男
今井 信幸	安佐 裕
小林 初子	阿部 吉伸
上野 良記	小林 仁一
上野 貞雄	菅原 誠一
三浦 伸一	小南 久一
五十嵐芳雄	菅原 辰己
栗田 英明	村上 和紀
菅生規美子	渡部 正之
佐藤 栄子	田中己知雄
大滝 敦	柳生 晃
大石 友喜	
鈴木 敬一	

〈余目町〉

松田 慎一	梅木 進
遠田 修	太田 光夫
穂積 進	今野 清一
池田 健吉	池田 孝一
斎藤 秀雄	斎藤 禎
菅原 三也	渡会 正
兼古 茂	阿部 文博

〈立川町〉

早坂 武	松沢 伸
小林 裕之	斎藤 秀紀
高野 学	高野 理
菅原十九八	

〈藤島町〉

今野 啓志	佐藤 浩幸
渡部 信也	斎藤 隆

〈楡引町〉

佐藤 浩和	今野 勉
佐久間忠勝	伊藤 秀一

〈三川町〉

成沢 一男	本間 浩一
工藤 忠雄	石川 稔

〈蓮沼町〉

本間 一之



わがまちの指導者



上山アルペンスキー
スポーツ少年団
代表指導者 川口 豊

「子どもたちの持っている多くの可能性を伸ばしてやりたい」と、抱負を語る川口さん。小麦色に日焼けした笑顔がさわやかだ。

4歳のときからスキーをはじめ、小学6年で基礎スキーバッチテスト1級に合格。現在、上山アルペンスポーツ少年団の代表指導者として活躍しており、自他ともに認めるスキー狂である。

選手としても全国中学・高校スキー、国体スキー、全日本スキー選手権と数々の戦歴を持っており「今後は、基礎スキーのもつ指導力と競技スキーの特长を考えたメソッドを研究し、地域のスキーレベル向上につとめたい」と、むすんでくれた。



チェリー寺津卓球
スポーツ少年団
指導者 穂波 恵子

天童市に42のスポーツ少年団があるが、チェリー寺津といえば卓球界では県下でも有名である。

かつて、彼女の指導で県中学校チャンピオンも誕生している。彼女は現在2児の母親として、若妻会の仕事、地区体育指導員、スポーツ少年団の指導等、実に幅広い分野でいろいろと大活躍中である。



昭和61年度

山形県スポーツ少年団表彰

功労者と 優良団体

本年度の功労者、優良団体は次のとおりです。

◎功労者

藤山英夫(天童市)
小林勉(村山市)
高橋正(南陽市)

◎優良団体

高瀬小バスケットボール
スポーツ少年団(山形市)
河北柔道スポーツ少年団(河北町)
大豊野球スポーツ少年団(鮭川村)
田沢スポーツ少年団(平田町)

四釜誠司(長井市)
佐藤寛(鶴岡市)
始井正孝(楡引町)

市町村の動き

長井市

市内小学校六校、中学校二校、十八団、八百七十名の団員が活動しています。

べにばな国体卓球競技少年部の会場に予定されていることから、卓球スポーツ少年団の中から強化選手を指定する等、より意欲的な活動をめざしています。



お知らせ

- 昭和62年度山形県スポーツ少年団
県内主要事業予定
- 第9回全国スポーツ少年団軟式野
球交流大会県予選会
6月28日と7月5日(中山町)
- 第23回山形県スポーツ少年団大会
7月31日と8月2日(飯豊町)
- 山形県少女スポーツ交流大会
9月27日(東南村山)
- 認定指導員養成講習会
5月16日と17日(東南村山)
- 未定(西置賜)
- 11月7日と8日(最上)
- 6月20日と21日(庄内)
- 県ジュニアリーダーズスクール
11月7日と8日(東南村山)
- 体力テスト判定員養成講習会
11月28日と29日(北村山)
- 県指導者研修会
12月13日(山形市)
- 第14回日独スポーツ少年団同時交
流(受入れ)
7月23日と27日(八幡町)
- 県スポーツ少年団表彰
3月11日(天童市)
- 県スポーツ少年団代表議員会
5月22日(山形市)
- 県スポーツ少年団第一回本部員会
6月23日(山形市)
- 県スポーツ少年団第二回本部大会
2月10日(山形市)
- 県スポーツ少年団指導者連絡
協議会
7月8日(山形市)